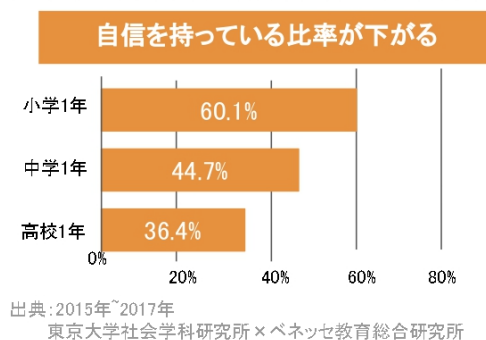
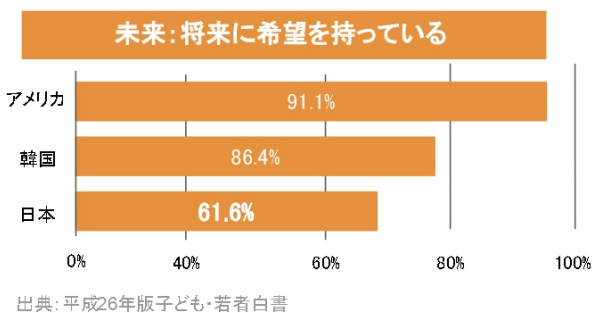
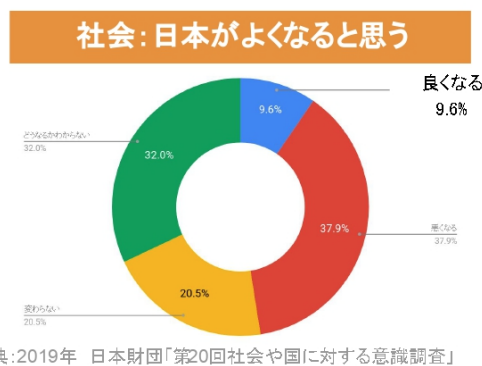
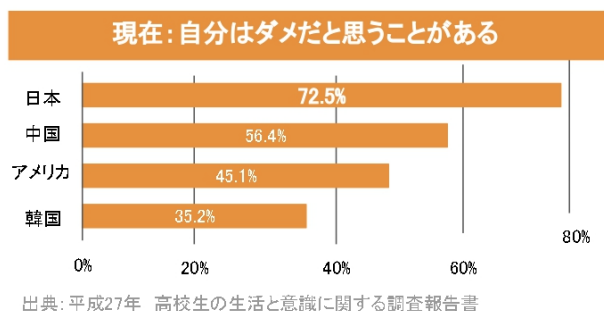


2021年度_事業計画書

1.取り組み

1.課題



日本の子ども若者は、自己肯定感が低い。自分のことがダメだと思ひ、将来に希望を持たず自分を取り巻く日本社会もよくなると思う子ども若者が少ない。それでは突然日本の子ども若者が自己肯定感が低いのか。と思うとそうではなく小学1年から学年が上がるにつれて自己肯定感が下がっている。

2.目的

災害や少子化、及び過疎化などの影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。

3.ビジョン

「自分の人生を1からデザインする楽しさであふれる社会」の実現

これまで、偏差値の高い大学に進学し大企業に就職することで年功序列賃金、終身雇用で定年を迎えます。家や車を買ひ、子どもを育てることが幸せな人生である。ネットが普及する前まではごく一部の作られた人生の型を誰も疑う事をしません。しかし、これだけ世の中は不（課題）で溢れ、ネットが普及した世の中で上記の幻想も完全に消え、同時に「生きる意味」がわからない！子ども・若者が増えてしまい、どうしたら稼げるか、どうしたら安定した暮らしが手に入るのかという「他者軸」の生き方選びではなく、自分がどうしたいのか、どのような人として生きていきたいのかを考え、「自分軸」を持って選び挑戦することが必要だと考えます。

一般社団法人ことばでは、日本中の子ども・若者が『この人生でよかった！』『生まれてよかった！』と笑い合っている社会、つまり、「自分の人生を1からデザインする楽しさで溢れる社会の実現」を目指す。

4. ミッション

子ども・若者に『自分の想いに気づき、伝え、実現する場』を提供する。

インターネットの普及により自分で考え仮説を立てる前に他の人の意見や正解に触れる機会が増えてしまいました。自分の心と対話する時間も減ってしまい自分の考えを「言葉」にして、他者と語り合うことで考えを深め、整理する機会がすくなくなりました。

そんな若者を対象に 私たちは人との対話や交流を通して原体験を振り返り考えを深め「個」を考え、自分の「言葉」にし挑戦できる場を提供することが使命だと考えます。

5. 目標

2021年は、新型コロナウイルスの影響で事業がオンライン中心になることが予想されます。その中でできることだけでなく、この状況だからこそできること、今だからできることを中心に事業を展開していく。

今年度からは、大学生ボランティアが年間通して活動する形からプロジェクトごとに参加して解散していく形を取り、これまで以上により多くの大学生が参加できる仕組みを作る。

今年度は、岩手県以外の地域で活動を開始するとともに課題が明確な地域や子ども若者にサポートを実施していく。

6. 組織基盤強化

1. 事務局の充実

事務局を部門ごとに役割を明確にし学生インターンを採用する。

2. 法人パートナーの獲得

法人パートナーを募集し、事業基盤を強化するとともにボランティア大学生のキャリア支援も同時に繋げていく。

3. 大学との連携

大学と連携し教育や地方創生、コミュニティに関心のある大学生のボランティア機会を創出する。

4. マンスリーサポーターの増加

昨年度はマンスリーサポーター制度を新たに整備し65名の方にサポーターに就任いただきました。今年度は、65名の方との関係を強固にしながら新たに10名のサポーター獲得を目指します。

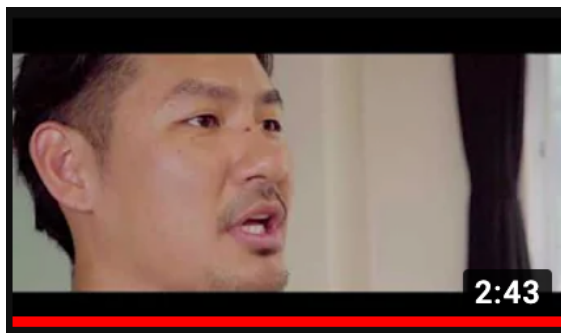
2.事業計画

1.ロールモデル提供事業

(1)ことばのじかん (YouTube)

目的：学校や家では教えてもらえない様々な生き方や体験を先輩から後輩へのアドバイスを中心にYouTubeを使って発信し、住んでいる地域に関係なく子ども若者が自分の人生を見つけ、実践するきっかけとなる配信を目指す。

内容：ことばの活動で関わった経営者や企業人、大学生ボランティアとして活動に参加した社会人が出会いの限られた子ども若者を対象に実践していく。月に1本以上の投稿頻度を目標として事業を実施していく。



(2)ことばノート (note/本)

目的：YouTubeの動画で配信された内容を中心に、文字に起こしてノート（本）にまとめて子ども若者の憧れを醸成し将来への希望がもてるようにする。また、子ども若者が自分の好きなことや今の感情を書ける欄を作成し夢の実現に向けたノートを準備する。



「新たな角度から見つめた10年間」

こんにちは。一般社団法人ことば理事の大浦佐和です。先ほど、2011年3月11日 14:46から丸10年が経ちました。10年前の今頃、たくさんの方が大きな揺...

♡ 3

 一般社団法人ことば
03/11



【サポーター×理事対談 #1】高本寛将さん

皆さんこんにちは！一般社団法人ことばです！今回は、私たちの活動を継続的に支援してくださっているマンスリーサポーター（通称：僕サポ）の方との対...

♡ 4

 一般社団法人ことば



人生の地図が広がる、ふるさとワーキングホリデー。

こんにちは、いつもご覧いただきありがとうございます！来年度、インターンとして僕夏を担当します。藤岡しほりです。改めてよろしくお願ひします！...

♡ 3

 一般社団法人ことば
03/13



2. キャリア支援事業

(1) 大学生のキャリアサポート（受託事業）

目的：企業の人事担当者が大学生ボランティアとの関わりを通して大学生のキャリア実現のサポートを実施する。またプロジェクトに参加している大学生の研修を通じて関わる。

目標：大学生ボランティアの生き方を見つけるサポート

日程：2021年4月～2021年10月

内容：プロジェクト参加大学生の研修

- ①ロールプレイング
- ②計画/目標設定
- ③プレゼンテーション
- +αのキャリアサポート
- ④反省会

(2) 僕らのまなびば

①僕らのまなびばin岩手

目的：学年が上がるにつれて勉強の難易度が上がりに自信のある子どもが減少する。そのため、勉強への拒否反応が出ないように「まなぶを楽しく」をテーマに実践する。学力を低下させずに維持、向上させることが自己肯定感の向上につながり、将来に夢や希望を持つ子どもが増える。

目標：①子どもたちの日常に寄り添いサポートする。

②50名の児童を対象にサポートする。

③様々な企業、団体と連携して事業を実践する。

内容：宿題のサポート

対象：小学3年～6年生

地域：岩手県沿岸地域

協力：自治体や企業に協力を依頼して費用の補助や機材の提供を依頼する。

②僕らのまなびばin豊島区

目的：新型コロナウイルスの影響で休校等が実施されたことで在住外国人の子どもや外国にルーツを持つ子どもたちの学習に遅れが出てしまった。しかし家庭学習では保護者や子どもの習熟度が高くなければ実践することが難しい現状で大学生ボランティアがサポートすることで学力の向上を目指す。さらに教員を志す大学生ボランティアに指導実践の場を提供することで大学生の学びにも活かす。

目標：①30名の児童を対象にサポートする。

②豊島区の大学（立教大学、大正大学、学習院大学、東京福祉大学 等）と連携する。

内容：宿題、学校の復習サポート

対象：小学生

地域：東京都豊島区

協力：養老乃瀧、としまNPO推進協議会、Mother'sTreeJapan、区役所と連携する。

5. イベントの企画、コーディネート事業

(1) 僕らの夏休みProject

目的：災害や少子高齢化、及び過疎化の影響により異世代間交流の機会が少ない子どもたちに対し、積極的な交流活動を行うことで、子どもたちの社会性や対人関係能力を育成し健全で心豊かな成長に寄与することを目的とする。また大学生ボランティアはプロジェクト参加を通して自分たちの想いに気づき言葉にすること、仲間を集めることで挑戦する機会を提供します。

目標：オンラインに対応した取り組みの強化と昨年度から児童の参加率を10%増加させる。また参加する大学生ボランティアに様々な研修を実施する。

内容：小学生向けイベント

大学生向け研修等（説明会、オリエンテーション、研修（4回）、成果報告会を実施する。）

大学生向けの研修では、自分の思考整理、組織&チーム、企画立案&計画、プレイベント、振り返り等週1回程度の会議を重ねながら子ども達のための企画を考える。

日程：①岩手：2021年8月～

②東京：2021年11月～

小学校：①岩手：20校 ②豊島区：5校

児童数：①岩手：100名 ②豊島区：30名

大学生：①岩手：100名 ②東京：10名

後援：①岩手県教育委員会、岩手県小学校校長会、岩手県PTA連合会、
宮古市教育委員会、山田町教育委員会、岩泉町教育委員会、釜石市教育委員会、
大槌町教育委員会（全予定）
②豊島区教育委員会、としまNPO推進協議会、としまユネスコ協会（全予定）

(2) 僕らの夏祭り

目的：少子高齢化や災害、人口流出等の様々な理由で希薄化してしまった地域の再生及び子どもたちを地域で育てるための出会いの場として各地域ごとに祭りを実施する。単発イベントで終わらせず、継続的に実施するために現地実行委員会を組織し活動する。また流出している人口世代（就学就職）の大学生が関わることで関係人口の拡大も目指す。

目標：小学生と地元住民が関わる仕掛けを作る。

中高生を現地実行委員会のユースチームとして参加出来る仕組みを作る。

新しい地域でも活動を開始し子どもや地域と関わるきっかけを作る。

内容：地域住民向けのイベント

大学生向け研修等（説明会、オリエンテーション、研修（4回）、成果報告会を実施する。）

大学生向けの研修では、自分の思考整理、組織&チーム、企画立案&計画、プレイベント、振り返り等週1回程度の会議を重ねながら祭り開催準備や子ども達のための企画を考える。

としまNPO推進協議会の主催イベント「えんがわ市」を大学生ボランティアの実地研修とする。

日程：2021年8月11日

場所：岩手県（鯨ヶ崎 腹帯 赤前）

参加：約1,000人

協力：僕らの夏祭りin赤前実行委員会 僕らの夏祭りin腹帯実行委員会

後援：岩手県宮古市、岩手県沿岸広域振興局、宮古市教育事務所

(3)僕らの出張ミライ会議

目的：高校生の進路選択におけるオープンキャンパス参加等の経済的負担を軽減し、多彩な選択肢から心が動く
選択肢を高校生自身が見つける機会を提供する。現役の学生との対話を通して不安を解消し自分の人生を
デザインする一助とすることを目的とする。

目標：①単発的にならないようにオンラインツールを活用しながら継続的にサポートする。

②地元の挑戦している若者を巻き込み身近な憧れとの出会いを創出する。

③YouTubeやInstagram等で発信したコンテンツを電子書籍にまとめる。

内容：高校生向けの進路相談イベント

SNSを利用したコンテンツ配信を実施する。

大学生ボランティアはイベントやSNS発信で高校生や次世代と関わる。

日時：2022年3月

場所：岩手県宮古市

対象：宮古市内の高校生

後援：宮古市教育委員会

(4)おおくまハチドリプロジェクト（受託事業）

目的：10周年に際し活動のきっかけである東日本大震災を新たな角度から考察するため

新しい地域への活動規模拡大のきっかけにするため

本格的な企画立案の経験によりことばの活動（僕夏など）の企画力を充実させるため

受託：株式会社Oriai（主催）

場所：福島県大熊町

内容：震災復興や地域活性などに興味がある学生を発掘・募集し、大熊町の町役場職員の方との対話・交流や、
大熊町の現地調査・取材を通して、企画アイデアをまとめ、発表会を行う。

今後：昨年度は、ことばから11名の大学生ボランティアが参加した。今年度も継続が決まっている企画のため昨
年度以上の参加者獲得を目指す。さらに今年度は受託事業だけではなくことばの自主事業開催も目指す。